

妙法華寺便り

令和7年2月号



和尚さんのよろず話

♪鬼はそと～、福はうち～ パラッ、パラッ、パラッ、パラッ、豆のおと～♪

今年の節分は2月2日（日）でした。毎年決まって2月3日だと思っていた方もおられたのではないのでしょうか？

節分は「立春の前日」を言います。昔はこの日が大晦日で、立春はその名の通りお正月だったのです。太陽暦を採用し、暦は西洋に合わせていますので、日にちが合いませし、二十四節の立春と旧暦の1月1日が合わないのもややこしい所です。

そもそも私達の住む地球が太陽の周りを一周するには、きっちり365日で回るわけではなく、もう少し長く時間がかかります。これを4年に一度、366日（うるう年）にして調整するのですが、この調整をしても完璧ではないのです。

「立春」は太陽の黄経（こうけい）が315度になる「瞬間」とされており、その日時はざっくりとは決められないのです。最上宝暦を見ますと、今年は2月3日23時10分がその瞬間すなわち立春なので、節分は立春の前日、2月2日となるのです。このように、節分は2月2日になったり、2月4日になったりするのですが、2月3日になることが多いので勘違いしやすいですね。

ところで節分といえば「豆まき」、煎った豆をまきます。煎るは「射る」、豆は「魔目」と語呂が合うので、鬼の目を射るとの意味が定着しました。日蓮宗では鬼子母神が守護神ですので、法華経に帰依した鬼は払いません。したがって、最上稲荷の節分祭では、「福は内」のみ唱えて豆をまきます。

その昔、冬から春の季節の変わり目はまだ寒く体調を崩しやすいこともあり、邪気（病気や災害）が入りやすいと考えられてきました。先ほど申し上げましたように、旧暦では立春が新年の始まりであり、立春の前日は大晦日を意味していました。そこで平安時代の宮中では新しい年を迎える立春の前日に、邪気の特徴である「鬼」を祓う。そして清めることで新年を迎え、来る歳の無病息災を祈る儀式として、追儺（ついな）と呼ばれる行事が行われていました。当時は赤色が魔除けですので、小豆を使っていたそうです。豆の袋も赤が基本なのは魔除けの意味があるからですね。室町時代以降庶民の間に広まりましたが、小豆は高価な為、徐々に大豆に代わっていったようです。それでも1年間の無病息災を祈る行事として「豆まき」が定着したと言われています。

厄除けをして、一年間の星回りが安穏であるようにと願う祈祷会が星祭りです。今年も檀信徒の皆様の無病息災を祈念させて頂きました。



◇ 行事報告 ◇

1月18日（土）跋魂祭・摩利支天月例祭



古い塔婆や、お位牌、正月飾り、御札等の魂抜きの式典を行い、その後、摩利支天堂にて摩利支天月例祭を執行しました。一年間、お守り頂いた御札や先祖へのお塔婆に感謝し、草木金石の素地に還って頂きました。来年は星祭りのあと、2月18日に執り行う予定ですので、よろしくお願ひします。

2月4日（火）星祭り

檀信徒各位の年中安全、諸難退散、厄除け、又還暦や祝い歳に当たる方の御祈禱、祈願をさせて頂きました。当日は、修法を行い、大江総代と共に一体一体にお香を通し、読み上げを行いました。



◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

3月18日（火）、4月18日（金） 午前10時より執行いたします。

多くの摩利支天様にお座り頂いた御宝前にて各家の家内安全、身体健全を祈願し、お加持を受けます。皆様のご参加をお待ちしております。

なお、お供えは、摩利支天様一体千円以上、お賽銭百円以上を申し受けます。

グランドゴルフ大会

4月16日（水）に「岡山県宗務所主催のグランドゴルフ大会」、

4月21日（月）に「庭瀬組寺主催のグランドゴルフ大会」が開催されます。

◎ 「少年少女の集い」と「霊跡参拝」のご案内◎

3月28日（金）に「庭瀬組寺主催の少年少女の集い」が「正善院」様のお寺を会場に開催されます。また、4月10日（木）～11日（金）の日程で庭瀬組寺主催の霊跡参拝を行います。同封のチラシの下部にある申込書により、是非お申込下さい。

チラシは、近隣の檀家の方のみ同封させて頂いておりますので、ご了承ください。

◎ 護持会費のお願い ◎

3月18日以降にお世話人のおられる方は、お世話人がお伺ひいたします。

その他の檀家の方には、来月のお便りと一緒に振込用紙をお送りさせて頂きますので、納入の程、よろしくお願ひします。

合 掌

